

平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	下水道課					
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり		重点的方針	1. 二宮の自然、文化、住環境の魅力				
分野別方針	(8) 公共下水道の整備と管理		実施計画事業	1) 公共下水道事業 (No.42)				
予算等事業名	酒匂川流域下水道事業							
目的	流域下水道事業は酒匂川流域下水道関連自治体として建設事業・維持管理事業における本町分を負担します。							
内容	流域下水道関連自治体として酒匂川流域下水道事業(建設事業・汚泥処理建設事業)における本町分を負担する							
根拠法令・条例等	—							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか		
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由		

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか		
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか		
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)	
	【説明】	

総合評価

実績	—		
中間評価との相違点	—		
事業指標(数値指標)	—		
前期(27年度)目標値	—		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】 流域下水道関連自治体として酒匂川流域下水道事業における本町分を負担するものである
単位:			
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	—		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		341	294				
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 流域下水道関連自治体として酒匂川流域下水道事業における本町分を負担するものである	
有効性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	
	【説明】 神奈川県が事業主体であり、流域関連市町が酒匂川流域下水道事業に関し汚水排出量に応じた負担をするものである	
効率性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 流域下水道関連自治体として酒匂川流域下水道事業における本町分を負担している	
総合評価	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 流域下水道関連自治体として酒匂川流域下水道事業における本町分を負担するものである	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 神奈川県が事業主体であり、流域関連市町が酒匂川流域下水道事業に関し汚水排出量に応じた負担をするものである	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	流域下水道関連自治体として酒匂川流域下水道事業における本町分を負担するものである。	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	流域下水道のスケールメリットが活かされており、事業を引き継ぎ実施していく必要がある。		
今後の方向性	今後も、他の流域関連市町との連携を図り、負担の軽減を図っていく。		